

# Oracle® Enterprise Repository

拡張ロールベース アクセス制御ガイド

10g リリース 3 (10.3)

2008 年 10 月

Copyright © 2007, 2008, Oracle. All rights reserved.

原著者 : Vimika Dinesh

協力者 : Dennis Chin, Sharon Fay, Casey Stella

このプログラム(ソフトウェアおよびドキュメントを含む)には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段(電子的または機械的)、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

#### U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかかる目的で使用する場合、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

Oracle, JD Edwards, PeopleSoft, Siebelは米国Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称は、他社の商標の可能性があります。

このプログラムは、第三者のWebサイトへのリンク、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社は第三者のWebサイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。第三者の製品またはサービスを購入する場合は、第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、第三者の製品およびサービスの品質、契約の履行(製品またはサービスの提供、保証義務を含む)に関しては責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

## ロールベース アクセス制御ガイド

### 目次

- **概要**
- **セキュリティに関する考慮事項**
  - アクセス設定と Asset Editor
  - カスタム アクセス設定の有効化
- **基本概念**
  - ロール
  - アクセス設定
- **アクセス定義**
  - アセット
  - アクセス
  - プロジェクト
  - レポート
  - システム管理
- **プロセスの概要**
- **パーミッションの付与と拒否**
  - 特定のアセットに対するアクセスの許可と拒否
  - アセット内の特定のダウンロード ファイルに対するアクセスの許可と拒否
- **既存のロールのアクセス設定のコンフィギュレーション**
  - ユーザ ロールとデフォルトの特権
  - オプション 1: 特定のアセットに対するアクセスの許可または拒否
  - オプション 2: 特定のファイルおよびアセットに対するアクセスの許可または拒否

## 概要

**拡張ロールベース アクセス制御**が有効な場合、組織では、Oracle Enterprise Repository コンテンツへのアクセスおよびこれらのコンテンツの表示を、ロールごとにアセット レベルとファイル レベルで制限できます。対象となる特定のコミュニティへのアクセスを制限するには、アセットまたはファイルにカスタム アクセス設定を適用します。

この基本機能は、以下のような組織におけるさまざまな戦略に適用できます。

- 顧客やトレーディング パートナに Web サービスを公開する。
- アウトソーシング先の開発チームが使用できる知的財産を制限し、輸出規制を管理する。
- 企業アセットの表示やアセットへのアクセスを全従業員に許可し、ドメイン固有の情報を適切なドメインに限定するフェデレーション リポジトリを確立する。
- ユーザが実行できるアクション (アセットの送信、受け入れ、登録など) を管理する。
- 開発中のアセットや廃止されたアセットの表示を制限する。
- ソース コード ファイルへのアクセスをアセット生成チームに限定する。
- Oracle Enterprise Repository の参照専用のアクセス権を選択したグループに付与する。

## セキュリティに関する考慮事項

ロールベース アクセス制御 (RBAC) を使用すると、Oracle Enterprise Repository では、アセットの使用と生成をユーザ単位で追跡できます。また、アセットの提示方法をパーソナライズして、Oracle Enterprise Repository 内の指定のコンテンツの表示を制限することもできます。ただし、ロールベース アクセス制御は、アセット メタデータにセキュリティを提供したり、基底のアセット リポジトリのセキュリティを補うものではありません。

Oracle Enterprise Repository のアクセス設定では、他の方法では保護されないアセットやデータに対して追加のセキュリティは提供されません。セキュリティを最大限向上させるには、保護されていないデータベース内のアセット メタデータへの直接アクセスを防ぐ方法でメタデータを管理する必要があります。機密情報は、アセットのダウンロード可能なペイロードに組み込むか、またはドキュメント ファイルとして添付し、保護されたりリポジトリでホストする必要があります。

**警告：** 基になるアセット リポジトリでの認証とパーミッションの課題を回避することを選択した場合は、自身の責任で行ってください。

以下の操作もセキュリティに関連しています。

- SCM システムでの単一の Oracle Enterprise Repository ユーザ アカウントを介したアクセスのコンフィグレーション
- 未承認ユーザによるシステム アクセスの許可

上記のアクションでは、Oracle Enterprise Repository へのネットワーク アクセスが可能なユーザにリポジトリのコンテンツを公開する可能性があります。

## アクセス設定と Asset Editor

使用するアクセス設定に応じて、**Asset Editor** へのアクセス権を持つユーザは、Oracle Enterprise Repository において他の方法ではユーザに対して表示されないアセットとの関係を参照できます。この場合、非表示のアセットの名前が表示され、そのアセットとユーザがアクセスできるアセットとの関係の詳細も表示されます。非表示のアセットに関するその他の情報は **Asset Editor** には表示されません。この場合、表示されたアセットと非表示のアセットとの間にある関係を削除することが可能です。ただし、表示されないアセットにユーザがアクセスできない場合、その関係を復元することはできません。

## カスタム アクセス設定の有効化

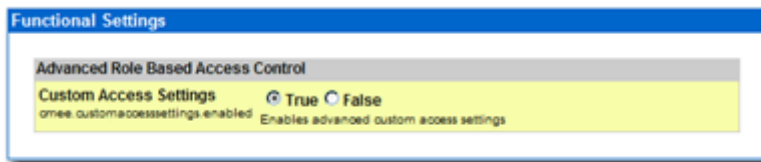
Oracle Enterprise Repository のユーザの場合は、通常、**カスタム アクセス設定**がインストール時にすでに有効になっており、適切にコンフィグレーションされています。この設定が行われていない場合、**カスタム アクセス設定**を有効にするには、3 つのプロパティをコンフィグレーションする必要があります。

1. Oracle Enterprise Repository の [Admin] ページのサイドバーにある [System Settings] をクリックします。

主ペインに [System Settings] セクションが開きます。

2. [Enable New System Setting] テキスト ボックスに `cmee.customaccesssettings.enabled` と入力します。
3. [Enable] ボタンをクリックします。

[Functional Settings] セクションの [Advanced Role Based Access Control] グループに [Custom Access Settings] が表示されます。



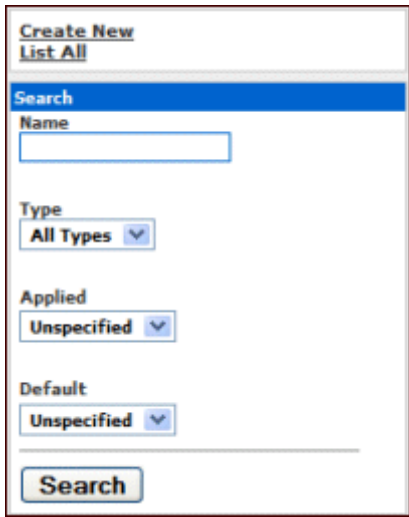
4. 上記の手順を繰り返して、次の各プロパティを有効にします。
  - `cmee.customaccesssettings.file`
  - `cmee.customaccesssettings.asset`

完了すると、3 つのすべての CAS システム設定が [Functional Settings] セクションの [Advanced Role Based Access Control] グループに表示されます (いずれかのプロパティを無効にすると、この機能が無効になります)。

**注意**：これらの**アクセス設定**が [System Settings: Access] リストに表示されない場合は、システム管理者または Oracle Enterprise Repository **カスタム サポート**までご連絡ください。

5. それぞれの設定が [True] になっていることを確認します。
6. 完了したら、[Save] をクリックします。

これで、**カスタム アクセス設定**が [Admin] 画面のサイドバーに表示されます。



The image shows a sidebar for creating new search filters. It includes the following elements:

- Buttons: [Create New](#) and [List All](#)
- Section: **Search**
- Field: **Name** with an empty text input box.
- Field: **Type** with a dropdown menu set to **All Types**.
- Field: **Applied** with a dropdown menu set to **Unspecified**.
- Field: **Default** with a dropdown menu set to **Unspecified**.
- Button: **Search**

# 基本概念

## ロール

Oracle Enterprise Repository のコンテキスト内において、ロールは職務と役割の特定の組み合わせによって定義されます。任意のユーザに複数のロールを割り当てることができます。特定のアセットまたはアセットの集合、および Oracle Enterprise Repository のさまざまな機能へのアクセスは、各ロールのアクセス設定のコンフィグレーションによって決定されます。

## アクセス設定

アクセス設定では、ロールによって実行可能な職務と役割が特定されます。Oracle Enterprise Repository のアクセス設定は、次の 2 つのカテゴリに分けられます。

- **基本アクセス設定 (BAS)** では、Oracle Enterprise Repository 内のすべてのアセットおよび特定のツール (**Asset Editor** など) へのアクセスを指定します。基本アクセス設定では、システム全体の一般的な機能に対する各ユーザの権限を決定します。たとえば、[View] パーミッションを持つユーザは、Oracle Enterprise Repository 内のすべてのアセットを表示できます。[Use] パーミッションと [Download] パーミッションを持つユーザは、Oracle Enterprise Repository 内のすべてのアセットのすべてのファイルをダウンロードできます。
- **カスタム アクセス設定 (CAS)** が有効な場合は、Oracle Enterprise Repository 内の特定のアセットやファイルにアクセスするパーミッションがユーザに付与されます。たとえば、カスタム アクセス設定では、特定のグループのアセットの表示、特定のアセットの編集、特定のアセット セット内の特定のファイルの表示などの機能をユーザに付与することができます。

すべてのサイトでは基本アクセス設定が有効になっています。カスタム アクセス設定は、リポジトリのコンフィグレーションに応じて有効にすることができます。

# アクセス定義

## アセット

制御されるツール : [Asset] タブ、**Asset Editor**、**Type Manager** (リポジトリのコンフィグレーションで有効な場合)。

パーミッション	説明	BAS	CAS
[View]	アセット詳細にアクセスします。	X	X
[Use]	アセット詳細に [Use/Download] ボタンを表示します。	X	X
[Download]	アセットの [Use/Download] ボタンをクリックすると、ファイルのリンクにアクセスします。	X	X
[Review]	アセット詳細のレビュー機能にアクセスします。	X	X
[Notify]	アセットに関する特別な電子メール通知をサブスクライバに送信します。	X	X
[Edit]	Asset Editor にアクセスします。	X	X
[Accept]	<b>Asset Editor</b> に [Accept] ボタンを表示します。	X	X
[Approve Tabs]	<b>Asset Editor</b> の各タブの一番下に [Approve] ボタンを表示します。	X	X
[Register]	<b>Asset Editor</b> を使用してアセットを登録する機能。	X	X
[Edit Access Settings]	(CAS のみ) すべてのアセットに対する CAS のパーミッションを変更する機能をユーザに提供します。	X	X
[Create/Submit]	Oracle Enterprise Repository の [Assets] 画面を使用してアセットを送信し、Asset Editor を使用して新しいアセットを作成する機能。	X	
[Launch Asset Editor]	Asset Editor にアクセスします。	X	
[Edit Artifact Stores]	Asset Editor を使用してアーティファクト ストアを作成および編集する機能。	X	
[Edit Asset Types]	<b>Type Manager</b> を使用して Type メタデータをコンフィグレーションする機能。Asset Editor パーミッションが必要です。	X	

## アクセス

制御される機能 : [Admin] 画面 : [Users]、[Sessions]、[Roles]、[Departments]、[File Stores]、[Basic Access Settings]、[Custom Access Settings] (リポジトリのコンフィグレーションで有効な場合)。

パーミッション	説明	BAS	CAS
[View]	上記のセクションにエントリを表示します。	X	
[Edit]	上記のセクションのエントリを編集します。	X	
[Create]	ユーザ、ロール、部門、ファイル ストア、およびカスタム アクセス設定を作成します。	X	
[Delete]	セッション、ロール、およびカスタム アクセス設定を削除します。	X	

## ポリシー

制御されるツール : [Policies] 画面 (リポジトリのコンフィグレーションで有効な場合)。

パーミッション	説明	BAS	CAS
[Apply Policy]	ユーザが他のアセットにポリシーを適用できるようにします。	X	

## プロジェクト

制御される機能 : [Projects] 画面 (リポジトリのコンフィグレーションで有効な場合)。

パーミッション	説明	BAS	CAS
[View]	[Projects] 画面にプロジェクトを表示します。	X	
[Edit]	[Projects] 画面のプロジェクトを編集します。	X	
[Create]	[Projects] 画面でプロジェクトを作成します。	X	
[Apply Template]	アセット詳細または <b>Asset Editor</b> から準拠テンプレートをプロジェクトに適用します。	X	

## レポート

制御される機能 : [Reports] 画面 (リポジトリのコンフィグレーションで有効な場合)。

パーミッション	説明	BAS	CAS
[View]	レポートを表示します。	X	

## システム管理

制御される機能 : [Admin] 画面 : [System Settings], [Email Templates]。

パーミッション	説明	BAS	CAS
[Edit]	全般、セキュリティ、認証、およびファイル ストアの設定を編集する権限。	X	
[Enable]	全般、セキュリティ、認証、およびファイル ストアの新しい設定を有効にする権限。	X	

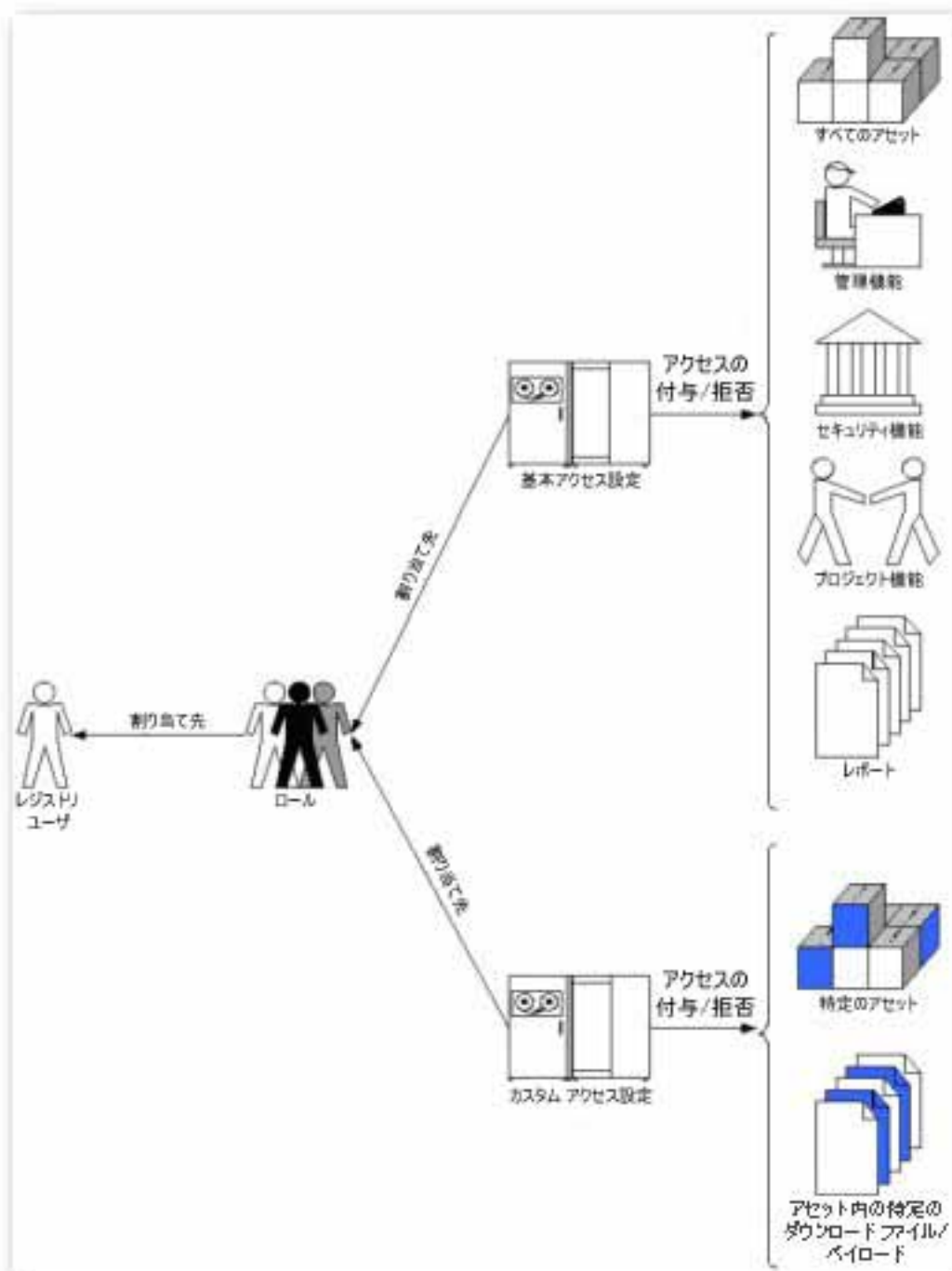
**注意** : BAS または CAS を使用する場合は、グローバル機能のパーミッションおよび機能を付与するために、BAS の以下のグローバル パーミッションを指定しておく必要があります。

- [Create/Submit]
- [Launch Asset Editor]
- [Edit Artifact Stores]
- [Edit Types]

# プロセスの概要

以下に示すいくつかの簡単な手順を行うだけで、さまざまなセキュリティ モデルを組織で確立できます。

- ロールの設定
- ユーザへのロールの割り当て
- BAS と CAS を使用したロールへのパーミッションの付与
- アセットまたはファイルへの CAS の割り当て



## パーミッションの付与と拒否

通常、個々のユーザは複数の Oracle Enterprise Repository ロールを所有します。たとえば、ユーザは [User] ロールと [Registrar] ロールの両方を所有することができます。この場合、[Registrar] には [User] には付与されないパーミッションがあります。同様に、アウトソーシング先の開発ユーザは [User] ロールと [Outsourced Development] ロールの両方を所有することができます。[User] ロールでは、リポジトリ内のすべてのアセットへのアクセスを許可し、[Outsourced Development] ロールでは、機密情報を含むアセットへのアクセスを拒否します。

特定の Oracle Enterprise Repository ユーザに特定のパーミッションを割り当てる方法を決定する場合は、パーミッションの状態が次の 3 つのレベルに分けられることに注意してください。

- **付与 :**
  - パーミッションが明示的に付与されます。
- **付与なし :**
  - パーミッションが明示的に付与または拒否されません。
- **拒否 :**
  - パーミッションが明示的に拒否されます。

複数のロールが存在する場合、Oracle Enterprise Repository では**最も制約の厳しいアクセス権**を承認します。つまり、パーミッション状態の設定においては、**拒否は許可よりも優先**されます。あるユーザが割り当てられているロールに対して明確に**拒否される**パーミッションは、それ以外のロールの同じユーザに対しても拒否されます。

## 特定のアセットに対するアクセスの許可と拒否

拡張ロールベース アクセス制御がコンフィグレーションで有効な場合は、カスタム アクセス設定を使用して、個々のアセットやファイルにアクセスするパーミッションを付与または拒否できます。**アセット CAS** を作成するには、[Access Administrator] ロールと次の (BAS) パーミッションを割り当てておく必要があります。

- [Launch Asset Editor]
- [Edit Access Settings]

既存のアクセス設定を変更するには、**Asset Editor** へのアクセス権とアセットを編集するパーミッションが必要です。Oracle Enterprise Repository の保護機能により、アセットのアクセス設定の編集後にユーザがアセットからロックアウトされる可能性はなくなります (アセットに対するそのような変更を保存することはできません)。ただし、ロール設定に対する変更によって、特定のアセットへのアクセスが制限される場合があります。そのため、ロール設定の編集時には注意が必要です。

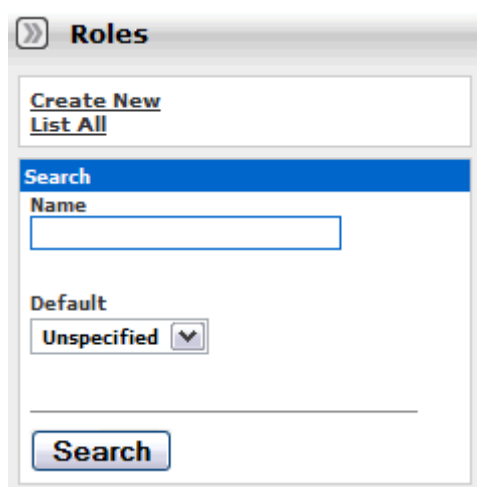
## 前提条件

- すべての対象ユーザが Oracle Enterprise Repository に存在していることを検証します。
- グローバル BAS パーミッション ([Create/Submit Assets]、[Launch Asset Editor]) を各ユーザに割り当てます。

適切なユーザが含まれている既存のロールがない場合は、作成する必要があります。この手順は Oracle Enterprise Repository の [Admin] ページで行われます。

1. 左のサイドバーにある [Roles] をクリックします。

[Roles] セクションが開きます。



2. [Create New] をクリックします。

[Create New Role] ポップアップが開きます。

**Create New Role**

**Overview**

Name\*:

Description:

(Max 500 Characters)

Automatically assign to new users?

**Users**

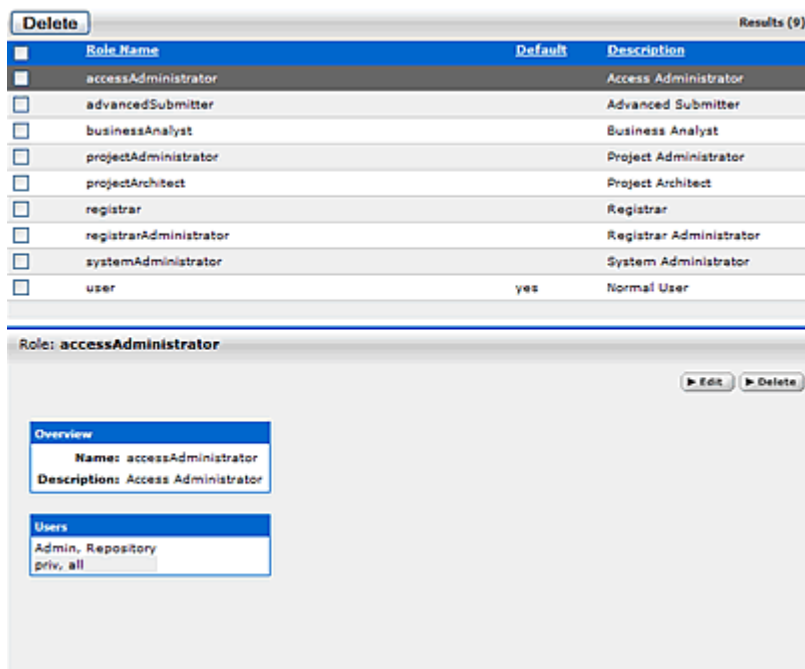
\*Denotes required field

3. [Create New User] ポップアップの [Name] フィールドと [Description] フィールドに適切な情報を入力します。
4. [Save] をクリックします。

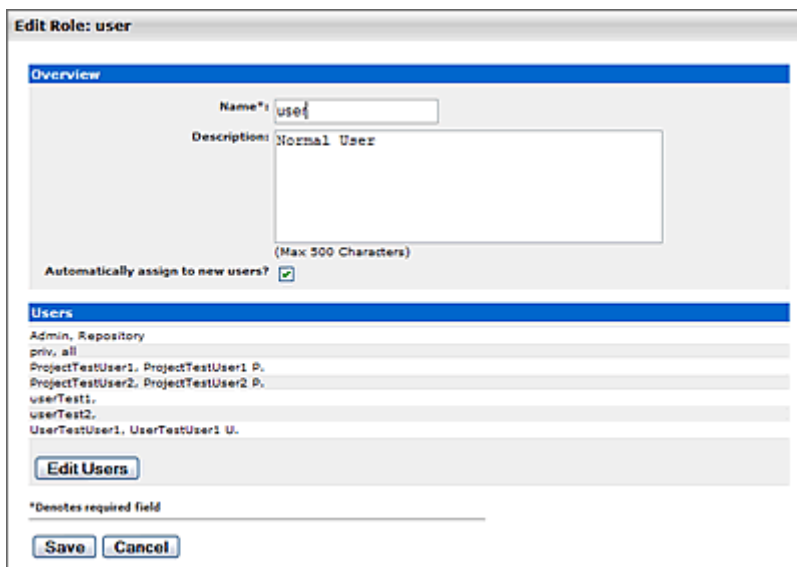
## アセット CAS の作成

この手順は Oracle Enterprise Repository の [Admin] ページで行われます。

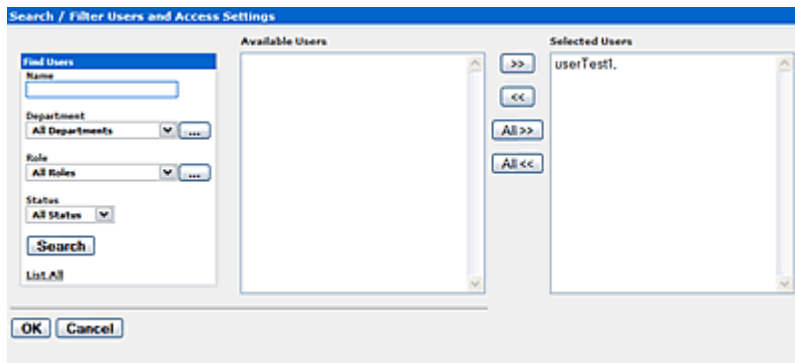
1. 左のサイドバーにある [Roles] をクリックします。  
使用可能なロールのリストが主ペインに表示されます。



2. リストから、編集するロールを選択します。  
 主ペインの一番下のフレームにロールの詳細が表示されます。
3. ロールの詳細の [Edit] ボタンをクリックします。  
 [Edit Role] ポップアップが開きます。



4. [Edit Role] ポップアップの [Users] セクションにある [Edit Users] ボタンをクリックします。  
 [Add Users] ポップアップが開きます。



5. [Search] を使用するか、[List All] をクリックして、[Available Users] カラムに値を表示します。
6. [<<] ボタンと [>>] ボタンを使用して、[Available Users] カラムから [Selected Users] カラムにユーザを移動します。
7. 完了したら、[OK] をクリックします。

[Add Users] ポップアップが閉じて、選択されたユーザが [Edit Role] ポップアップの [Users] セクションに表示されます。

8. [OK] をクリックします。

[Edit Role] ポップアップが閉じます。

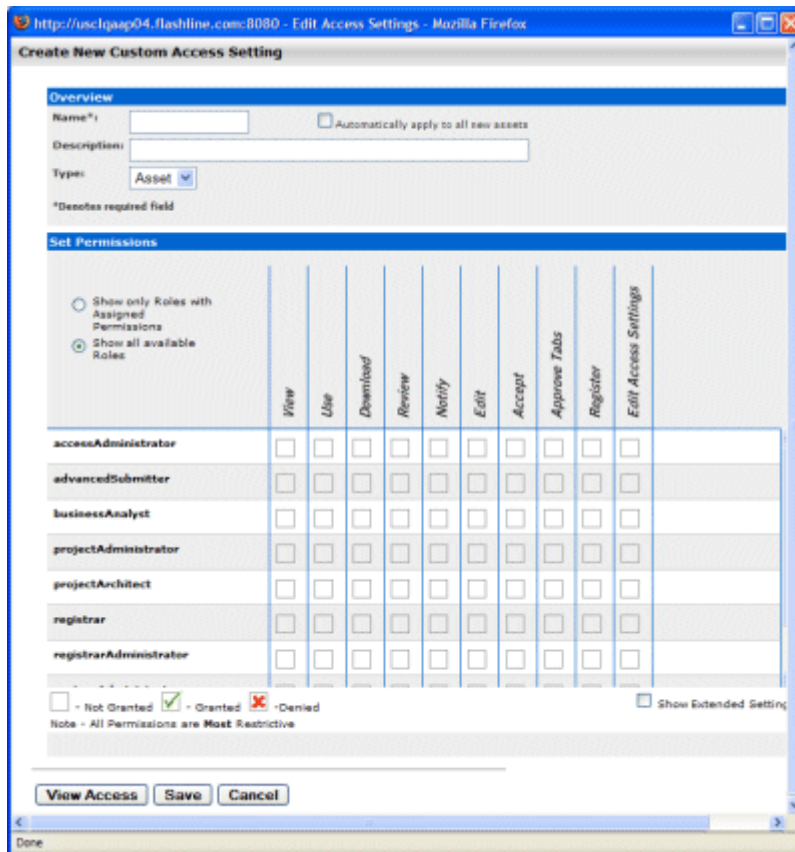
9. [Admin] 画面のサイドバーにある [Custom Access Settings] をクリックします。

[Custom Access Settings] セクションが開きます。



10. [Create New] をクリックします。

[Create New Custom Access Setting] ポップアップが開きます。



11. [Name] テキスト ボックスと [Description] テキスト ボックスに、必要に応じてテキストを入力します。

12. [Type] ドロップダウンの [Asset] を選択します。

13. [Set Permissions] セクションのチェック ボックスを使用して、適切なロールに必要なパーミッションを割り当てます。

- 1 回クリックすると、パーミッションが付与されます：
- 2 回クリックすると、パーミッションが拒否されます：
- 3 回クリックすると、チェック ボックスがクリアされます (パーミッションが付与されていない状態です)：

14. 完了したら、[Save] をクリックします。

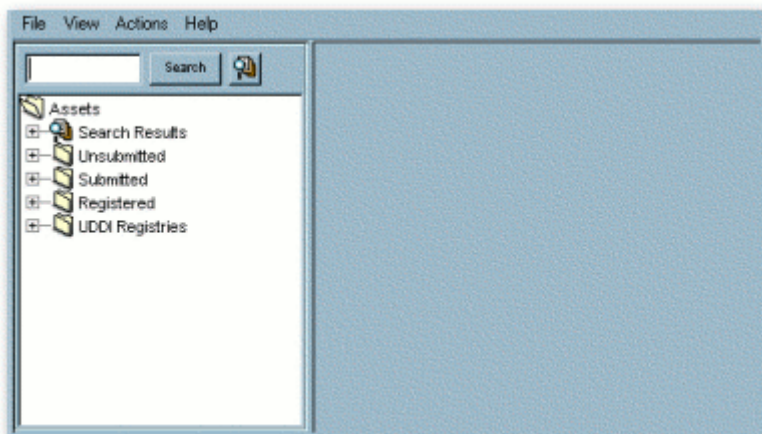
[Create New Custom Access Setting] ポップアップが閉じます。

15. Oracle Enterprise Repository のメニュー バーにある [Assets] をクリックします。

16. [Edit / Manage Assets] をクリックします。

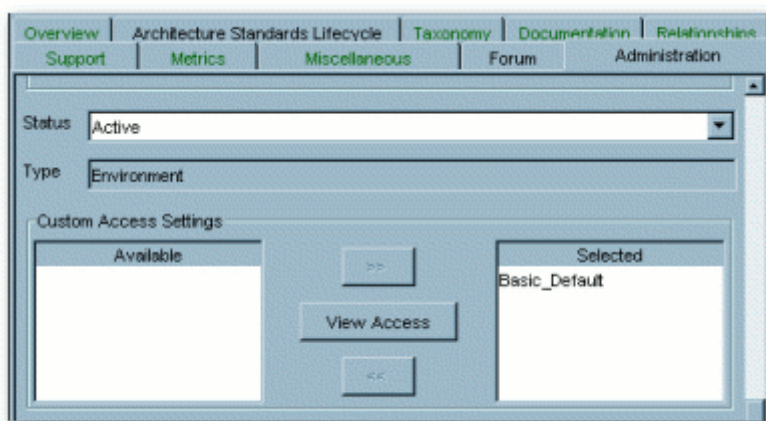


Asset Editor が起動します。



17. 新しいカスタム アクセス設定を適用するアセットを探して開きます (または、必要に応じて作成します)。

18. アセットの [Administration] タブをクリックします。



19. 必要に応じて [<<] ボタンと [>>] ボタンを使用して、[Available] カラムから [Selected] カラムに新しい CAS を移動します。

20. 使用例で指定するユーザ パーミッションと指定しないユーザ パーミッションを確認することにより、CAS をテストします。[View Access] ボタンをクリックして、ユーザ アクセスを確認します。

## アセット内の特定のダウンロード ファイルに対するアクセスの許可と拒否

このアセット CAS またはファイル CAS を作成するには、[Access Administrator] ロールと次の (BAS) パーミッションを割り当てておく必要があります。

- [Launch Asset Editor]
- [Edit Access Settings]

## 前提条件

- すべての対象ユーザが Oracle Enterprise Repository に存在していることを検証します。
- グローバル BAS パーミッション ([Create/Submit Assets]、[Launch Asset Editor]) を各ユーザに割り当てて、アセットの送信と編集を許可します。

適切なユーザが含まれている既存のロールがない場合は、作成する必要があります。この手順は Oracle Enterprise Repository の [Admin] 画面で行われます。

1. [Roles] をクリックします。
2. [Create New] をクリックします。
3. [Create New User] ウィンドウの [Name] フィールドと [Description] フィールドに適切な情報を指定します。
4. [Save] をクリックします。

## ファイル CAS の作成

この手順は Oracle Enterprise Repository の [Admin] 画面で行われます。

1. [Roles] をクリックします。
2. [Edit Role] 画面の [Edit User] ボタンを使用して、新しいロールに適切なユーザを追加します。
3. 完了したら、[Save] をクリックします。
4. Oracle Enterprise Repository のメニュー バーにある [Admin] をクリックします。
5. [Admin] 画面のサイドバーにある [Custom Access Settings] をクリックします。

[Custom Access Settings] セクションが開きます。

6. [Create New] をクリックします。

[Create New Custom Access Setting] ポップアップが開きます。

7. [Name] テキスト ボックスと [Description] テキスト ボックスに、必要に応じてテキストを入力します。

8. [Type] ドロップダウンの [File] を選択します。

9. [Set Permissions] セクションで、**適切なロール**を選択し、この CAS の [Download] パーミッションを割り当てます。

10. [Save] をクリックします。

11. Oracle Enterprise Repository のメニュー バーにある [Assets] をクリックします。

12. [Edit / Manage Assets] をクリックします。

**Asset Editor** が起動します。

13. 新しいカスタム アクセス設定を適用するアセットを探して開きます (または、必要に応じて作成します)。

14. アセットの [File Information] メタデータ要素を探します。

15. 対象のファイルを選択します。

16. [Edit] ボタンをクリックします。

17. [Edit] ウィンドウの [Custom Access Settings] セクションで、新しい**ファイル CAS**だけを注意して選択します。

対象のファイルが存在しない場合は、新しいファイルを追加し、([Custom Access Settings] セクションで) 新しい**ファイル CAS** を選択します。

18. アセットの [Administration] タブをクリックします。

19. 使用例で指定するユーザ パーミッションと指定しないユーザ パーミッションを確認することにより、CAS をテストします。アセットの [View Access] ボタンをクリックして、ユーザ アクセスを確認します。

最も一般的なセキュリティ使用例のいくつかのシナリオが以降のセクションで示されています。ただし、いずれかの新しいセキュリティ モデルを実装する前に、カスタム アクセス設定をサポートするようにシステム内の既存のロールをコンフィグレーションする必要があります。

# 既存のロールのアクセス設定のコンフィグレーション

Oracle Enterprise Repository には、以下に定義されているように、いくつかのデフォルトのロールが付属しています。カスタム アクセス設定用に Oracle Enterprise Repository をコンフィグレーションする場合は、基本アクセス設定とカスタム アクセス設定を組み合わせるこれらのロールを再確立し、カスタム アクセス設定が既存のユーザ アクセス特権に影響を与えないようにする必要があります。

## ユーザ ロールとデフォルトの特権

- [User]
  - Oracle Enterprise Repository のユーザ名とパスワードを所有するすべてのユーザ。このロールは、ユーザ アカウントの作成時に、新しいユーザのデフォルトのロールとして割り当てることができます。Oracle Enterprise Repository のすべてのユーザが行うことのできる操作は次のとおりです。
    - ホスト企業の戦略に関するホーム ページでのニュースの表示
    - アセットの検索、評価、および使用
    - プロジェクトの表示 (有効にされている場合)
    - レポートの生成 (有効にされている場合)
    - レジストラへのアセットの送信
- [Access Administrator]
  - [Access Administrator] は、Oracle Enterprise Repository のすべてのユーザ アカウントを作成し、パーミッションを割り当てます。[Access Administrator] は、Oracle Enterprise Repository の [Admin] 画面で使用できる機能について理解しておく必要があります。通常、[Access Administrator] が行うことのできる操作は次のとおりです。
    - ユーザとパーミッションの作成、表示、および編集
    - レポートの生成 (有効にされている場合)
- [Advanced Submitter]
  - 通常、[Advanced Submitter] ロールは、アセット作成者およびハーベスタに割り当てられます。アセット作成者は、組織のアセットのニーズや個々のプロジェクトのニーズに対応したアセット コンテンツ ベースを構築します。ハーベスタは、実装後のプロジェクトでのアセット再利用の可能性を調査します。通常、[Advanced Submitter] が行うことのできる操作は次のとおりです。
    - アセットの検索、評価、および使用
    - アセットに関連付けられたプロジェクトの表示 (有効にされている場合)

- レポートの生成 (有効にされている場合)
  - レジストラへのアセットの送信
  - アセット登録前のアセット メタデータの編集
- [Registrar]
  - [Registrar] は、アセットの受け入れまたは拒否および登録を行います。指定された職務に応じて、リポジトリ レジストラとして作業する複数の担当者が存在する場合があります。通常、[Registrar] が行うことのできる操作は次のとおりです。
    - アセットの検索、評価、および使用
    - アセットに関連付けられたプロジェクトの表示
    - レポートの生成 (有効にされている場合)
    - レジストラへのアセットの送信
    - アセット登録前のアセット メタデータの編集
    - 登録プロセスでのアセットの受け入れ
    - [Asset Editor] タブの承認
    - アセットの登録
    - アクセス設定の編集
- [Registrar Administrator]
  - [Registrar Administrator] は、リポジトリのコンフィギュレーションで有効な場合、**Type Manager** を使用して Oracle Enterprise Repository 内のアセット、準拠テンプレート、ポリシー タイプを確立および管理します。通常、[Registrar Administrator] が行うことのできる操作は次のとおりです。
    - アセットの検索、評価、および使用
    - アセットに関連付けられたプロジェクトの表示 (有効にされている場合)
    - レポートの生成 (有効にされている場合)
    - レジストラへのアセットの送信
    - アセット登録前のアセット メタデータの編集
    - 登録プロセスでのアセットの受け入れ
    - [Asset Editor] タブの承認
    - アセットの登録
    - アクセス設定の編集
    - アーティファクト ストアの編集
    - タイプの編集 (有効にされている場合)
- [Project Administrator]
  - 複数のデフォルトのプロジェクトがリポジトリのコンフィギュレーションで有効な場合、Oracle Enterprise Repository では、メンテナンス用の履歴を維持するために、アセットの使用状況をプロジェクト レベルで追跡します。[Project Administrator] は、Oracle Enterprise Repository の [Projects] 画面 (適切なパーミッションを持つユーザにのみ表示されます) を使用してプロジェクトを作成し、ユーザをプロジェクトに割り当てます。また、[Project Administrator] は、プロジェクトを終了して、どのアセットがデプロイされたかを示します。通常、[Project Administrator] が行うことのできる操作は次のとおりです。

- プロジェクトの作成、編集、および表示 (有効にされている場合)
- レポートの生成 (有効にされている場合)
- [System Administrator]
  - [System Administrator] は、Oracle Enterprise Repository を使用するためのコンフィグレーションを行います。通常、[System Administrator] が行うことのできる操作は次のとおりです。
    - システム設定の有効化と編集
    - レポートの生成 (有効にされている場合)

## アクセスのオプション

既存のロールのアクセス設定をコンフィグレーションする場合は、以下に示す 2 つのオプションを使用できます。拡張ロールベース アクセス制御が有効な場合は、カスタム アクセス設定を使用して、個々のアセットやファイルへのアクセスを制御できます。

### • オプション 1 -- アセットへのアクセス

- アセットへのアクセスを許可または拒否します。このオプションは、カスタム アクセス設定を使用して、特定のドメイン内の開発者、顧客やトレーディング パートナ、アウトソーシング先の開発者にアセットのサブセットを公開する組織に役立ちます。

#### ■ オプション 1 の用途 :

- 顧客やトレーディング パートナに Web サービスを公開する
- アウトソーシング先の開発チームへの知的財産の公開を制限し、輸出規制の対象となるアセットを管理する
- 企業アセットの表示やアセットへのアクセスを全従業員に許可し、ドメイン固有の情報を適切なドメインに所属するユーザに限定するフェデレーション リポジトリを確立する
- 開発中のアセットへのアクセスを制限することにより、アセット ライフサイクルを管理する
- リポジトリへの参照専用のアクセス権を特定のグループに付与する

### • オプション 2 -- ファイル アクセス

- アセット内のダウンロード ファイルとペイロードに対するアクセスを許可または拒否します。このオプションは、カスタム アクセス設定を使用して、ブラック ボックスの再利用をサポートする組織に役立ちます。たとえば、開発者はコンパイル済みコードにアクセスすることができ、アセットの作成者と保守担当者はソース コードとコンパイル済みコードの両方にアクセスすることができます。

## ■ オプション 2 の用途 :

- ソース コード ファイルへのアクセスをアセット生成チームとメンテナンス チームに限定する

設定プロセスは各オプションで異なります。最も簡単な開始方法としては、アセットへのアクセスを許可または拒否し (オプション 1)、ファイル アクセス パーミッションを後から必要に応じて追加します。

## オプション 2 -- ファイル アクセスに関する注意事項 :

特定のアクセス設定が適用されている場合に **Asset Editor** を使用すると、ダウンロード プロセス時に特定のユーザに対して非表示になっているアセット ファイルがそのユーザに表示され、アクセスも可能になります。ユーザによるファイルの表示を完全に制限するには、**Asset Editor** でユーザのアセット表示機能をブロックする必要があります。

## オプション 1: CAS を使用した特定のアセットに対するアクセスの許可または拒否

### 手順 1 -- カスタム アクセス設定を使用してデフォルトのロールを再確立する

1. **Basic\_Default\_Assets** という名前のアセットの **CAS** を作成します。

2. CAS に次のロールと関連するパーミッションを追加します。

- **ロール** : [User]
- **パーミッション** : [View]、[Use]、[Download]、[Review]
  
- **ロール** : [Advanced Submitter]
- **パーミッション** : [View]、[Use]、[Download]、[Review]、[Edit]
  
- **ロール** : [Registrar]
- **パーミッション** : [View]、[Use]、[Download]、[Review]、[Edit]、[Accept]、[Approve Tabs]、[Register]、[Edit Access Settings]
  - **注意** : このコンフィグレーションでは、[Registrar] がすべてのアセットのアクセス設定を表示および変更できます。この特権を制限するには、[Registrar] ロールの [Edit Access Settings] チェック ボックスをチェックしないでください。

- **ロール** : [Registrar Administrator]
- **パーミッション** : [View]、 [Use]、 [Download]、 [Review]、 [Edit]、 [Accept]、 [Approve Tabs]、 [Register]、 [Edit Access Settings]

3. 画面の一番上にある [Automatically apply to all new assets] をチェックします。

4. [Save] をクリックします。

5. [Apply this new setting to all existing assets] ポップアップが表示されたら、[Yes] をクリックします。

次の図は、作成されたカスタム アクセス設定を示しています。

	View	Use	Download	Review	Notify	Edit	Accept	Approve Tabs	Register	Edit Access Settings
advancedSubmitter	✓	✓	✓	✓		✓				
registrar	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓
registrarAdministrator	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓
user	✓	✓	✓	✓						

- Not Granted ✓ - Granted ✗ - Denied  
 Note - All Permissions are Most Restrictive

Assets linked to this Access Setting (22)

## 手順 2 -- Oracle Enterprise Repository ツールへのアクセスを有効にする

1. 次の新しいロールを (ロール リストに表示するために、ロールの前に付いている番号も含めて) 作成します。

- [1: Create/Submit]
- [2: Launch Asset Editor]
- [3: Edit Artifact Stores]
- [4: Edit Types]

2. 現在の BAS 設定を編集し、以下を反映します。

- **ロール** : [1: Create/Submit]
- **パーミッション** : [Create/Submit]
  
- **ロール** : [2: Launch Asset Editor]
- **パーミッション** : [Launch Asset Editor]
  
- **ロール** : [3: Edit Artifact Stores]
- **パーミッション** : [Edit Artifact Stores]
  
- **ロール** : [4: Edit Types]
- **パーミッション** : [Edit Types]

アセットの既存の BAS パーミッションを削除して、CAS が Oracle Enterprise Repository 内のすべてのアセットのデフォルト パーミッション セットになるようにしてください。

**注意** : BAS を通じたグローバルなツール パーミッションを保持するには、以下に示すように、指定された 4 つの機能またはツール パーミッションのいずれかの新しい機能ロールに各ユーザを割り当てる必要があります。

	View	Use	Download	Review	Modify	Edit	Accept	Approve Table	Registrar	Edit Access Settings	Create / Submit	Launch Asset Editor	Edit Artifact Stores	Edit Types
1: Create/Submit											✓			
2: Launch Asset Editor												✓		
3: Edit Artifact Stores													✓	
4: Edit Types														✓
advancedSubmitter	✓	✓	✓	✓	✓	✓					✓	✓		
registrar	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
registrarAdministrator	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
user	✓	✓	✓	✓	✓	✓					✓			

- Not Granted ✓ Granted ✗ Denied  
 Note - All Permissions are Most Restrictive  
 \* - These are Global Permissions. These permissions should be set here in Basic Access Settings only.

### 手順 3 -- 既存のロールに基づいて、新しいロールと既存のユーザを関連付ける

- 各ロールを編集し、アセットの作成と送信、Asset Editor の起動、アーティファクト ストアの編集、およびタイプの編集の機能を割り当てる必要のあるすべてのユーザを、対応する 4 つの各ロールに配置します。
  - 補足事項：次の表は、Oracle Enterprise Repository のデフォルトのロールのデフォルト パーミッションを示しています。

ロール	パーミッション
[User]	[Create/Submit]
[Advanced Submitter]	[Create/Submit]、 [Launch Asset Editor]
[Registrar]	[Create/Submit]、 [Launch Asset Editor]
[Registrar Administrator]	[Create/Submit]、 [Launch Asset Editor]、 [Edit Artifact Stores]、 [Edit Types]

例：

以前、Larry には、デフォルト パーミッションを含むデフォルトのロールである [User] が割り当てられていました。新しい設定の下で彼の既存のパーミッションを保持するには、[User] への再割り当てを行い、新しい [1: Create/Submit] ロールにも割り当てる必要があります。

同様に、以前 Larry に割り当てられた [Registrar] ロールに付加されているデフォルト パーミッションを保持するために、Daryl を [Registrar] ロールに再割り当てし、[1: Create/Submit] と [2: Launch Asset Editor] にも割り当てる必要があります。また、ユーザにロールを追加するのとは逆に、ロールにユーザを追加することもできます。Oracle Enterprise Repository のロールのデフォルト パーミッションに変更がなければ、各ロールを編集して適用可能なすべてのユーザを一度に追加できます。

## 手順 4 -- 変更内容を検証する

1. ユーザを 5 個作成し、以下のロールの組み合わせに各ユーザを割り当てます。
  - [User]、[1 : Create/Submit]
  - [Advanced Submitter]、[1: Create/Submit]、[2: Launch Asset Editor]
  - [Registrar]、[1: Create/Submit]、[2: Launch Asset Editor]
  - [Registrar Administrator]、[1: Create/Submit]、[2: Launch Asset Editor]、[3: Edit Artifact Stores]、[4: Edit Types]
  - [Project Administrator]
2. 上のリストの各ロールに割り当てられた各ユーザが、以下の項目を表示できることを確認してください。
  - [User]
    - Oracle Enterprise Repository メニュー バーに [Assets]、[Projects]、[My Stuff]、および [Reports] のリンクが表示されています。
    - [Assets] 画面に [Submit an Asset] リンクが表示されています。  
([Edit/Manage Assets] リンクを表示することはできません)。
    - [Asset] 画面で [Search] ボタンをクリックすると、アセットのリストが表示されます。各アセットに [Subscribe] および [Use/Download] ボタンが表示されます。([Edit] ボタンを表示することはできません)。  
[User] もレビューを投稿する必要があります。
    - ダウンロード可能なファイルを含むアセットの [Use/Download] ボタンをクリックした後、[User] がファイルをダウンロードする必要があります。
  - [Advanced Submitter]
    - Oracle Enterprise Repository メニュー バーに [Assets]、[My Stuff]、および [Reports] リンクが表示されています。

- [Assets] 画面に [Submit an Asset] および [Edit / Manage Assets] の 2 つのリンクが表示されています。
- [Assets] 画面で [Search] ボタンをクリックすると、アセットのリストが表示されます。各アセットに [Subscribe]、[Use/Download]、および [Edit] ボタンが表示されます。[Advanced Submitter] もレビューを投稿できる必要があります。
- ダウンロード可能なファイルを含むアセットの [Use/Download] ボタンをクリックした後、[Advanced Submitter] がファイルをダウンロードできる必要があります。
- [Assets] 画面の [Edit / Manage Assets] リンクをクリックして、**Asset Editor** を起動できます。
  - 次のことを確認します。
    - それぞれの [Asset Editor] タブの下にある [Approve] ボタンがアクティブではありません。
    - **Asset Editor** の [Administration] タブの [Register] ボタンがアクティブではありません。
- [Registrar]
  - Oracle Enterprise Repository メニュー バーに [Assets]、[My Stuff]、および [Reports] リンクが表示されています。
  - [Assets] 画面に [Submit an Asset] および [Edit / Manage Assets] の 2 つのリンクが表示されています。
  - [Assets] 画面で [Search] ボタンをクリックすると、アセットのリストが表示されます。各アセットに [Subscribe]、[Use/Download]、および [Edit] ボタンが表示されます。[Registrar] もレビューを投稿できる必要があります。
  - ダウンロード可能なファイルを含むアセットの [Use/Download] ボタンをクリックした後、[Registrar] がファイルをダウンロードできる必要があります。
  - [Assets] 画面の [Edit / Manage Assets] リンクをクリックして、**Asset Editor** を起動できます。
    - 次のことを確認します。
      - それぞれの [Asset Editor] タブの下にある [Approve] ボタンがアクティブです。

- Asset Editor の [Administration] タブの [Register] ボタンがアクティブです。
  - Asset Editor で、Oracle Enterprise Repository [Assets] 画面の [Submit an Asset] リンクを通じて送信されたアセットの [Accept] ボタンが表示されています。
  - [Registrar] がアセットのアクセス設定を変更できます (CAS で有効にされている場合)。
- [Registrar Administrator]
- Oracle Enterprise Repository メニュー バーに [Assets]、[My Stuff]、および [Reports] リンクが表示されています。
  - [Assets] 画面に [Submit an Asset] および [Edit / Manage Assets] の 2 つのリンクが表示されています。
  - [Assets] 画面で [Search] ボタンをクリックすると、アセットのリストが表示されます。各アセットに [Subscribe]、[Use/Download]、および [Edit] ボタンが表示されます。[Registrar Administrator] もレビューを投稿する必要があります。
  - ダウンロード可能なファイルを含むアセットの [Use/Download] ボタンをクリックした後、[Registrar] がファイルをダウンロードする必要があります。
  - [Assets] 画面の [Edit / Manage Assets] リンクをクリックして、**Asset Editor** を起動できます。
    - 次のことを確認します。
      - それぞれの **Asset Editor** の各タブの一番下にある [Approve] ボタンがアクティブです。
      - **Asset Editor** の [Administration] タブの [Register] ボタンがアクティブです。
      - **Asset Editor** で、Oracle Enterprise Repository [Assets] 画面の [Submit an Asset] リンクを通じて送信されたアセットの [Accept] ボタンが表示されています。
      - [Registrar Administrator] がアセットのアクセス設定を変更できます。
      - **Asset Editor** の [Actions] メニューには [Configure Artifact Stores] および [Manage Asset Types] が含まれている必要があります。
- [Project Administrator]
- Oracle Enterprise Repository メニュー バーに [Assets]、[Projects]、および [My Stuff] リンクが表示されています。

- 次のことを確認します。
  - [Submit an Asset] リンクと [Edit / Manage Assets] リンクは [Assets] 画面に表示されません。
  - [Search] ボタンをクリックした後、検索結果が表示されません。

## オプション II : CAS を使用した特定のファイルおよびアセットに対するアクセスの許可または拒否

アセットおよびアセット内の特定のファイルへのユーザ アクセスを決定するカスタム アクセス設定を作成します。

### 手順 1 -- [System Settings] における 3 つのすべての CAS 設定を有効にする

### 手順 2 -- 現在すべてのアセットのダウンロード ファイルにアクセスするすべてのロールが、ファイル CAS を通じて同じ機能を取得できるようにする

1. Basic\_Default\_Files という名前のファイルの CAS を作成します。
2. それぞれにダウンロード特権を持つ次のロールを追加します。
  - [User]
  - [Advanced Submitter]
  - [Registrar]
  - [Registrar Administrator]
3. [Automatically apply to all new files] をチェックします。
4. [Apply this new setting to all existing files?] ポップアップが表示されたら、[Yes] をクリックします。

### 手順 3 -- 現在すべてのアセットにアクセスするすべてのロールが、アセット CAS を通じて同じ機能を取得できるようにする

1. Basic\_Default\_Assets という名前のアセットの CAS を作成します。次のロールおよび関連するパーミッションを追加します。
  - **ロール** : [User]

- **パーミッション** : [View]、 [Use]、 [Review]
  - **ロール** : [Advanced Submitter]
  - **パーミッション** : [View]、 [Use]、 [Review]、 [Edit]
  
  - **ロール** : [Registrar]
  - **パーミッション** : [View]、 [Use]、 [Review]、 [Edit]、 [Accept]、 [Approve Tabs]、 [Register]、 [Edit Access Settings]
  
  - **ロール** : [Registrar Administrator]
  - **パーミッション** : [View]、 [Use]、 [Review]、 [Edit]、 [Accept]、 [Approve Tabs]、 [Register]、 [Edit Access Settings]
2. 画面の一番上にある [Automatically apply to all new assets] をチェックします。
  3. [Apply this new setting to all existing assets?] ポップアップが表示されたら、 [Yes] をクリックします。

#### **手順 4 -- アセットの既存の BAS パーミッションを削除する**

CAS が Oracle Enterprise Repository 内のすべてのアセットのデフォルト パーミッションセットになります。

**注意** : BAS を通じたグローバルなツール パーミッションを保持するには、以下に示すように、指定された 4 つの機能またはツール パーミッションのいずれかの新しい機能ロールに各ユーザを割り当てる必要があります。

Basic Access Settings for: Assets														
Set Permissions														
	View	Use	Download	Review	Notify	Edit	Accept	Approve Table	Register	Edit Access Settings	Create / Submit*	Launch Asset Editor*	Edit Artifact Stores*	Edit Types*
1: Create/Submit											✓			
2: Launch Asset Editor												✓		
3: Edit Artifact Stores													✓	
4: Edit Types														✓
advancedSubmitter	✓	✓	✓	✓	✓	✓					✓	✓		
registrar	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
registrarAdministrator	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
user	✓	✓	✓	✓	✓	✓					✓			

- Not Granted ✓ Granted ✗ Denied  
 Note - All Permissions are Most Restrictive  
 \* - These are Global Permissions. These permissions should be set here in Basic Access Settings only.

1. 次の名前の 4 つの新しいロールを (ロール リストに表示するために、ロールの前に付いている番号も含めて) 作成します。

- [1: Create/Submit]
- [2: Launch Asset Editor]
- [3: Edit Artifact Stores]
- [4: Edit Types]

2. 現在の BAS 設定を編集し、以下を反映します。

- **ロール** : [1: Create/Submit]
- **パーミッション** : [Create/Submit]
  
- **ロール** : [2: Launch Asset Editor]
- **パーミッション** : [Launch Asset Editor]
  
- **ロール** : [3: Edit Artifact Stores]
- **パーミッション** : [Edit Artifact Stores]
  
- **ロール** : [4: Edit Types]
- **パーミッション** : [Edit Types]

**手順 5 -- 既存のロールに基づいて、新しいロールと既存のユーザを関連付ける**

1. 各ロールを編集し、アセットの作成と送信、Asset Editor の起動、アーティファクト ストアの編集、およびタイプの編集の機能を割り当てる必要のあるすべてのユーザを、対応する 4 つの各ロールに配置します。

次の表は、Oracle Enterprise Repository のデフォルトのロールのデフォルト パーミッションを示しています。

ロール	パーミッション
[User]	[Create/Submit]
[Advanced Submitter]	[Create/Submit]、 [Launch Asset Editor]
[Registrar]	[Create/Submit]、 [Launch Asset Editor]
[Registrar Administrator]	[Create/Submit]、 [Launch Asset Editor]、 [Edit Artifact Stores]、 [Edit Types]

例 :

以前、Daryl には、デフォルト パーミッションを含むデフォルトのロールである [User] が割り当てられていました。新しい設定の下で彼の既存のパーミッションを保持するには、[User] への再割り当てを行い、新しい [1: Create/Submit] ロールにも割り当てる必要があります。

同様に、以前 Daryl に割り当てられた [Registrar] ロールに付加されているデフォルト パーミッションを保持するために、Larry を [Registrar] ロールに再割り当てし、[1: Create/Submit] と [2: Launch Asset Editor] にも割り当てる必要があります。

また、ユーザにロールを追加するのとは逆に、ロールにユーザを追加することもできます。Oracle Enterprise Repository のロールのデフォルト パーミッションに変更がなければ、各ロールを編集して適用可能なすべてのユーザを一度に追加できます。

## 手順 6 -- 変更内容を検証する

1. ユーザを 5 個作成し、以下のロールの組み合わせに各ユーザを割り当てます。
  - [User]、 [1: Create/Submit]

- [Advanced Submitter]、 [1: Create/Submit]、 [2: Launch Asset Editor]
- [Registrar]、 [1: Create/Submit]、 [2: Launch Asset Editor]
- [Registrar Administrator]、 [1: Create/Submit]、 [2: Launch Asset Editor]、 [3: Edit Artifact Stores]、 [4: Edit Types]
- [Project Administrator]

2. 上のリストの各ロールに割り当てられた各ユーザが、以下の項目を表示できることを確認してください。

- [User]
  - Oracle Enterprise Repository メニュー バーに [Assets]、[Projects]、[My Stuff]、および [Reports] リンクが表示されています。
  - [Assets] 画面に [Submit an Asset] リンクが表示されています。  
([Edit/Manage Assets] リンクを表示することはできません)。
  - [Asset] 画面で [Search] ボタンをクリックすると、アセットのリストが表示されます。各アセットに [Subscribe] および [Use/Download] ボタンが表示されます。([Edit] ボタンを表示することはできません)。  
[User] もレビューを投稿する必要があります。
  - ダウンロード可能なファイルを含むアセットの [Use/Download] ボタンをクリックした後、[User] がファイルをダウンロードする必要があります。
- [Advanced Submitter]
  - Oracle Enterprise Repository メニュー バーに [Assets]、[My Stuff]、および [Reports] リンクが表示されています。
  - [Assets] 画面に [Submit an Asset] および [Edit / Manage Assets] の 2 つのリンクが表示されています。
  - [Assets] 画面で [Search] ボタンをクリックすると、アセットのリストが表示されます。各アセットに [Subscribe]、[Use/Download]、および [Edit] ボタンが表示されます。[Advanced Submitter] もレビューを投稿する必要があります。
  - ダウンロード可能なファイルを含むアセットの [Use/Download] ボタンをクリックした後、[Advanced Submitter] がファイルをダウンロードする必要があります。
  - [Assets] 画面の [Edit / Manage Assets] リンクをクリックして、**Asset Editor** を起動できます。
    - 次のことを確認します。
      - それぞれの [Asset Editor] タブの下にある [Approve] ボタンがアクティブではありません。

- Asset Editor の [Administration] タブの [Register] ボタンがアクティブではありません。
- [Registrar]
  - Oracle Enterprise Repository メニュー バーに [Assets]、[My Stuff]、および [Reports] リンクが表示されています。
  - [Assets] 画面に [Submit an Asset] および [Edit / Manage Assets] の 2 つのリンクが表示されています。
  - [Assets] 画面で [Search] ボタンをクリックすると、アセットのリストが表示されます。各アセットに [Subscribe]、[Use/Download]、および [Edit] ボタンが表示されます。[Registrar] もレビューを投稿する必要があります。
  - ダウンロード可能なファイルを含むアセットの [Use/Download] ボタンをクリックした後、[Registrar] がファイルをダウンロードする必要があります。
  - [Assets] 画面の [Edit / Manage Assets] リンクをクリックして、**Asset Editor** を起動できます。
    - 次のことを確認します。
      - それぞれの [Asset Editor] タブの下にある [Approve] ボタンがアクティブです。
      - **Asset Editor** の [Administration] タブの [Register] ボタンがアクティブです。
      - **Asset Editor** で、Oracle Enterprise Repository [Assets] 画面の [Submit an Asset] リンクを通じて送信されたアセットの [Accept] ボタンが表示されています。
      - [Registrar] がアセットのアクセス設定を変更できません (CAS で有効にされている場合)。
- [Registrar Administrator]
  - Oracle Enterprise Repository メニュー バーに [Assets]、[My Stuff]、および [Reports] リンクが表示されています。
  - [Assets] 画面に [Submit an Asset] および [Edit / Manage Assets] の 2 つのリンクが表示されています。
  - [Assets] 画面で [Search] ボタンをクリックすると、アセットのリストが表示されます。各アセットに [Subscribe]、[Use/Download]、および [Edit] ボタンが表示されます。[Registrar Administrator] もレビューを投稿する必要があります。

- ダウンロード可能なファイルを含むアセットの [Use/Download] ボタンをクリックした後、[Registrar] がファイルをダウンロードできる必要があります。
- [Assets] 画面の [Edit / Manage Assets] リンクをクリックして、**Asset Editor** を起動できます。
  - 次のことを確認します。
    - それぞれの [Asset Editor] タブの下にある [Approve] ボタンがアクティブです。
    - **Asset Editor** の [Administration] タブの [Register] ボタンがアクティブです。
    - **Asset Editor** で、Oracle Enterprise Repository [Assets] 画面の [Submit an Asset] リンクを通じて送信されたアセットの [Accept] ボタンが表示されています。
    - [Registrar Administrator] がアセットのアクセス設定を変更できます。
    - **Asset Editor** の [Actions] メニューには [Configure Artifact Stores] および [Manage Asset Types] が含まれている必要があります。
- [Project Administrator]
  - Oracle Enterprise Repository メニュー バーに [Assets]、[Projects]、[My Stuff]、および [Reports] リンクが表示されています。
    - 次のことを確認します。
      - [Submit an Asset] リンクと [Edit / Manage Assets] リンクは [Assets] 画面に表示されません。
      - [Search] ボタンをクリックした後、検索結果が表示されません。